

## 日本最大のトンボ - オニヤンマー

夏の陶史の森、雲五川の水辺では、さまざまなトンボが飛び交います。その中でひととき大きなトンボが堂々と飛んでいるのを見つけることがあります。国内最大のトンボ「オニヤンマー」です。

体長80mm～100mm、胸部と腹部に黒地に黄色の斑紋があり、複眼が鮮やかな緑色をしています。メスの方がオスより大きいです。食性は肉食でガ、ハエ、アブ、ハチなどを空中で捕食します。樹木の枝にとまりニイニイゼミを捕食する事例もあります。大顎の力も強く、かまれると出血することもあります。昆虫界ではかなりどう猛なので、オニヤンマーの模型を体に付けておくと虫よけになるくらいです。(本当にこの商品があります)

オニヤンマーはバラバラに動かすことができる4枚の羽で揚力と推進力を自在に制御して飛行するトンボです。オスは森林などの日陰の多い水路や小川の水辺に縄張りを持ち、そこを日中、何度もパトロールしています。オスがよくホバリング(空中静止)している場所は、メスが主に産卵場所とする幅の狭い水路が多いようです。陶史の森においてもオニヤンマーをよく観察していると、同じ領域のほぼ同じコースをぐるぐる回っている様子が見られます。一生懸命、自分の縄張りを守り、メスが来るのを待っているのでしょうか。まれにその縄張りの中の水路でメスが体を立てて産卵している様子を見ることがあります。

森の昆虫の王者に出会おうとわくわくします。



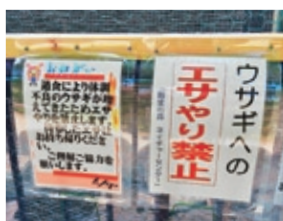
▶ 羽化の様子

森	の
日	記

### ウサギへのエサやり禁止

6月7日(月)

今年度に入り、体調を崩すウサギがとて増えてきました。外部からの過剰なエサやりが続いています。ウサギ飼育コーディネーターの専門家によると『食料のやり過ぎや生エサのために体調不良を起こしているウサギが多い。ウサギは満腹を感じないために与えられた食料を絶え間なく食べてしまい体調を崩している。外部からのエサやりを禁止してエサの質をよくし、量が過度にならないようにすることが大切』とのことでした。陶史の森にあるエサのみを与え、量を調整することでウサギの健康を守ることとしました。



申し訳ありませんが、ウサギへのエサやりを禁止します。ご理解とご協力をお願いします。

### 教室のご案内

7月

- バードウォッチング(要申込 定員10人)  
7月25日(日) 午前9時～11時 雨天中止  
夏の野鳥を観察します。野外活動です。

8月

- 川の生き物教室(要申込 定員10人)  
8月8日(日・祝) 午前9時～11時 雨天中止  
川の生き物の観察と飼育方法を学びます。  
※ぬれてもよい服装で参加してください
- 夏の天体教室(要申込 定員10人)  
8月14日(土) 午後7時30分～9時  
集合場所: 第2駐車場 天候により中止  
夏の天体を観測します。
- バードウォッチング(要申込 定員10人)  
8月22日(日) 午前9時～11時 雨天中止  
夏の野鳥を観察します。野外活動です。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。